

2025年日本国際博覧会プロモーション事業推進支援事業者募集 質問と回答

※印：説明会(7/24)における質疑回答

no	該当箇所	質問内容	回答
1	募集要項 P4 8(1) 提出書類及び様式	「カ 本要項「4参加資格等」(1)に定める応募者の実績を申告する。」については様式等はあるか。 様式がない場合、本項目はどういった主旨、内容の想定か。	記載誤りである。 「カ 本要項「4参加資格等」(1)に定める応募者の実績を申告する。」については、削除する。
2 ※	募集要項 P5 9(3)イ 企画提案書概要	提案資料のうち概要をまとめたA3の資料1枚については、1枚にまとめるのか、A3で複数枚にするのかどちらか。	A3用紙1枚に、まとめていただきたい。
3 ※	募集要項 P5 9(3)イ 企画提案書概要	概要をまとめたA3の資料はどのような目的で使用されるのか。	提案内容の比較に使用する。提案内容が多岐に渡り企画提案書が相当のボリュームになることが想定されることから、各者の提案を比較し易くするため、概要の提出をお願いするもの。作成にあたっては、提案内容とそれらの関係性等がわかるようにまとめていただきたい。
4	募集要項 P6 10(3) 審査基準・方法	共創活性化策において、「・プロモーション事業活動支援策が、プロジェクトの共創を活性化するとともに効率的に機能し、高い社会的インパクトを發揮するものとなっているか。」とあるが、共創活性化策は企画提案事項に含まれないのではないか。	当該項目においては、募集要項別紙2「企画提案事項」における1(3)「ア プロモーション事業の制度設計」及び「イ プロモーション事業の推進企画」について、その制度設計及び推進企画がプロジェクトの共創を活性化するとともに効率的に機能し、高い社会的インパクトを發揮するものとなっているか、を審査する。
5	募集要項 P11,12 経費分担の考え方 企画提案事項	コンテンツマネジメントシステム企画・設計、ウェブシステム(サーバ含む)を提案とあるが、P11経費分担の考え方ではコンテンツマネジメントシステム構築は別途措置の欄に記載されている。ということは本提案ではコンテンツマネジメントシステム構築そのものについてはシステム内容とサーバ等環境の考え方を提案するが、構築費用そのものについては見積範囲外と考えていいか。	コンテンツマネジメントシステムにおいて包括する情報等 ・情報発信 (SNS, ウェブページ等) ・コミュニティサイト (オンラインプラットフォーム) ・プロジェクトの進捗管理 ・ステークホルダー情報管理 ・ライセンス管理 ・その他本事業の遂行に必要な情報
6	募集要項 P11,12 経費分担の考え方 企画提案事項	P12でコミュニティサイトの企画・設計とあるが、P11経費分担の考え方で、コミュニティサイトの構築という項目は入っていないが、サーバー・開発等構築・実装に関する事項は提案・見積範囲外と考えていいか。コンテンツマネジメントシステムでは企画・設計と構築で費用の考え方が明示されているため。	各業務は相互に関連することから、関連する情報等については一元的に管理するシステム構築が必要だと考える。本提案では、必要なサーバーを含む全体のシステムの企画・設計を提案いただきたい。なお、構築は別途発注するため、費用は見積対象外とする。
7 ※	募集要項 P12,13 企画提案事項 別添1仕様書(案)	今回の各提案は基本的には募集要項と別紙2の企画提案事項に即して提案するという理解でよいか。仕様書と募集要項を見比べると、例えば仕様書の1-3プロモーション事業の情報発信、3-2のプロモーション事業活動支援、3-3協賛制度設計にあたるところが、募集要項別紙2企画提案要項に含まれていないがそれらも含むのか。	基本的には企画提案事項に合わせていただければよい。 協賛制度もいずれは検討する必要があることから委託事業(仕様書)には含めているが、今回の選定において、提案を比較して審査するものではない。
8	募集要項 P13 企画提案事項 2(3)業務遂行能力 (個人)	ウのクリエイティブ/プロモーションディレクターは、それぞれクリエイティブディレクター、プロモーションディレクターと分けてもよいか。	分けてもよい。ただしその場合、各自の経歴等を提示いただくとともに、金額提案書(経費積算書/見積書)上においても明確に個別のフィーが分かるように整理されたい。

no	該当箇所	質問内容	回答
9	募集要項 P13 企画提案事項 2(3)業務遂行能力 (個人)	クリエイティブディレクターの役割は、初期のブランドアイデンティティの構築のみで、それ以降の業務はないと考えてよいか。	クリエイティブディレクターは、期間中の情報発信等においてクリエイティブ部分を統括、監修する必要がある。初期のブランドアイデンティティの構築のみが役割ではない。
10 ※	別添1 仕様書(案) プロモーション事業	プロモーション事業のローンチについて、2020年4月以降からなのか2020年3月までの活動も含めてのローンチなのか。	プロジェクト自体の活動開始は2020年度の春を想定しているが、確定はしていない。いずれにしても、プロジェクトの立上げの発信は年度内にするべきだと考えている。
11 ※	募集要項 P11 別紙1 経費分担の考え方	契約金額に含むものと別途措置について、2プロモ事業(2)事業推進企画については契約金額に含まれているが、年内に事業スタートの声掛けと2020年春までのハッカソン、アイデアソン等のアクションを実施する想定なのか。	2020年の春に立上げるにあたって実施した方がよいことであれば提案に入れ、今年度においては目標という考えであれば入れていただかなくてよい。協会としての想定はない。
12 ※	別添1 仕様書(案) 1(2)年間コミュニケーション 戦略	年間コミュニケーションに関して、2019年のコミュニケーションはいつからの想定をしているのか。事業者から提案すればよいか、協会としての考えがあれば教えてもらいたい。	プロジェクトの立上げの発信をした後で、早ければ年内の実施になる。活動自体は2020年度の春からを予定しているが、取組みの企画は今年度内に進める。プロジェクトの盛上げに必要なコミュニケーションがあれば、必要に応じて提案に入れていただきたい。なお、活動にかかる費用は今回の契約金とは別になるので、金額も含めて提案いただければよい。
13 ※	別添1 仕様書(案) 1(2)年間コミュニケーション 戦略	仕様書に記載されている、目標どおり進捗しなかった場合の、「目標」は協会の中で検討している目標を指しているのか、事業者から提案しての目標設定になるのか。	目標は、コミュニケーション戦略を構築する際にそれぞれのセグメントに対して何をやるかの目標を立てていただくもの。この目標に対して予定通りに進捗しなかった場合にどのような対策を取るかについて、事業者が決まって事業を進める際に予め考えていただくもの。
14 ※	別添1 仕様書(案) 3(4)情報収集	最後の文章が途中で切れているのではないか。	以下に修正する。 関係者への情報提供等によってプロジェクトの推進に役立てるために、受託者が保有するネットワーク等を通じて国内外から広くSDGsに関する情報を収集する。
15	支援事業者 公募説明会資料 P9	プロジェクトの目標設定における評価指標について、「社会的インパクト効果」は別途協会内で検討とあるが、具体的にどのような指標か。これをもとに業務設計を行う必要があると考えるため、詳細に伺いたい。あるいは、この指標の設定から提案を行う必要があるか。	現時点で具体的な指標及び方針はない。 業務設計に不可欠であれば指標の設定から提案いただきたい。
16	支援事業者 公募説明会 資料P10	協会の事業への関与に限界があるため、支援事業者との連携を強化し、成果を上げる場を提供すると記載されているが、場の提供以外にインセンティブはあるか。あるいは、その制度設計から提案を行う必要があるか。	インセンティブについては、実際に制度設計をする中で設けていくこととしており、協会としては、現時点ではshow case以外の想定はない。よい企画があれば提案いただきたい。
17	支援事業者 公募説明会資料 P11	「ステークホルダーの情報管理」や「プロジェクト関連のライセンス管理」において、イノベーションを目指す参画者の保有する技術的リソースやノウハウの開示・権利譲渡を懸念する声は今後上がってくるのが想定されるが、現時点での見解はどのような考えをお持ちか。	以下を原則とする方向である。 ・イノベーションを目指す参画者の保有する技術的リソースやノウハウの開示については、その参画者の了解を得られた場合に限る。 ・技術的リソースやノウハウの権利譲渡については、必要が生じた場合はその参画者と協会が協議した上で実施する。